



平成23年

2月号



園だより



あながわはなぞのようちえん

今月の「ののさま」のことは

ぜんじょうせいじゃく
禅定静寂

こころ静かに、自らを見つめて生活しよう。

今月の予定

日	曜	活動内容	保育	体操教室			給食
				長	中	少	
1	火	午後個人面談	半日			○	
2	水	節分	一日				○
3	木	午後個人面談	半日	○			
4	金	午後個人面談	半日				
5	土	親子de Do! 「運動遊びって楽しい！」					
7	月	午後個人面談	半日				
8	火		一日	○			○
9	水	年中組プール・避難訓練	一日				
10	木	幼稚園創立記念休園	休園				
14	月	ブーク人形劇 「もりのへなそうる」	一日				
15	火	「年長ビーンズへんしん！」	一日		○		○
16	水	年長組プール	一日				
17	木	涅槃会	一日			○	○
18	金	思い出遠足(たてわり保育)	一日				
21	月	年長組『お茶会』	一日				
22	火		一日		○		
23	水	誕生会 1:00~	一日				
24	木	行事前保育	半日	○			
25	金	一日入園(在園児休園)	休園				
28	月	年中お茶のお作法	一日				

【節分】 2日(水)

本堂に集まり、園長先生のお話を聞いた後、豆まき・鬼さんと記念撮影など、楽しい行事です。また、子どもたちが一年で一番良い子になる日でもあります。



【涅槃会】 17日(木)

お釈迦様の亡くなった日です。本堂に集まり、お涅槃の大きな掛け軸を見ながらお参りをします。園舎のとなりの大きな涅槃像にもお参りに行きます。お供物を差し上げます。

【お茶会】 21日(月)

年中組のときから2年間「お茶のお作法」では、お菓子のいただき方、お茶のいただき方、お辞儀の仕方、感謝の心の持ち方表し方、歩き方、などいろいろです。

年長組は、白くつ下で参加して下さい。

【一日入園】 25日(金)

平成23年度の新入園児の一日入園・入園準備会・教材配布を行います。在園児は休園となります。

【かばんのマスコットは付けなくて!】

4月の新学期に「みだしなみはだいじょうぶ?」をお願いしました。しかし、いろいろなマスコットや飾りを付けているお子様が増えてきて、座っている子どものそばを通るときに、顔の辺りにぶつかりますと危ないのです。かばんに付けるのは、お守り程度にしてくださいませよう、お願いいたします。

あたたかい井戸水

新年を迎えたと思ったら、もう三学期も半ばで、年長さんは卒園までのカウントダウンがはじまります。

一月には、子どもたちはもちろん、私も楽しみにしていたネイチャーランドの「冬たんけん」がありました。

年長さんは年間を通しての活動「チャレンジビーンズ」の締めくくりに、畑の大豆の収穫をしました。年中は森たんけん、年少は原っぱをころげまわり、私は雑木林できこりになりました。

チェーンソーの音に、緊張して見ている子どもたち、ミシミシと倒れ始めた木に息を飲んで見守る子どもたち、見事にドッスンと倒れた時の体で感じる音や地響き、その後の歓声。都会の子どもには決して味わうことのできない、貴重な体験をしたに違いありません。

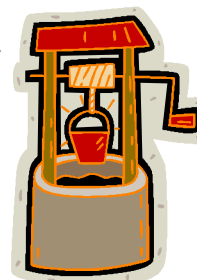
地球温暖化が叫ばれ、CO2増加の一因が地球の森林減少にあると言われる時代、そんなことを学校の社会科で勉強することもあるでしょう。森の木が切られる瞬間を体感した子どもたちには、教科書で学ぶ森林の減少を、肌で理解することができ、森を・木を・緑を大切にしようという気持ちを持つ大人になれると信じています。

たんけんを終えた子どもたちが、お弁当の前に井戸水で手を洗いました。その水のあたたかさに気付いた子がいました。

作家の水上勉さんは幼いころに、禅寺に小僧に出されました。幼いながらも早起きして雑巾がけをしなければなりません。バケツに汲んだ井戸水で雑巾を洗うと、水が温かかったそうです。すると、和尚さんが言いました。「この水は、冷たい水で雑巾がけをするのはかわいそうだと思って、お母さんが暗いうちにそーっと温めてくれたんだぞ。」と。本当にお母さんが温めたわけではなく、一年を通して一定の水温を保つ井戸水は冬には暖かく感じるものですが、その和尚さんの言葉で子どもながらに母親の愛情の深さを知り、一生懸命雑巾がけをしなければと思ったそうです。

母親の愛情も、子どもたちの体験も、その成果がすぐにでなくとも、いつの日が気づく時があって、その子の成長の手助けになったら、どんなに素晴らしいことでしょうか。

みんな、事を急いで、即効性や見栄えばかり気にしている時代に、井戸水の温かさは、本当の母の愛を教えてください。



ちきゅうがみえた!?

ブーク人形劇場
「もりのへなそうる」

今月の保育

単元	保育のねらい	活動	予想される子どもの状態と対応
年長組	・活動の目的や意味がわかり、意欲的に取り組む。	チャレンジビーンズ最終章『これからも ずっといっしょだよ!』	「チャレンジたんけんたい」で、ネイチャーランドに突っ込んでいたビーンズに飛び上がって喜んでいた年長組。これまでの活動を振り返り、どんな時でも希望をもってチャレンジすることの嬉しさや大切さを体験し学びました。ビーンズのことや友だちのことなど相手のことを思い、自分のこれからの見通しを取り組めるように、ゆったり明るく援助しましょう。
	・あそびや活動を、自分たちですすめていく楽しさを味わいながら、友だちの良いところにも気づく。	最後まで『チャレンジにおまかせ!』(お茶会、プール、思い出遠足)	
年中組	・異年齢の友だちと関わる中で、憧れやいたわりの気持ちをもつ。	『まねっこまねっこ “チャレンジジュニア”!!』(思い出遠足)	これまで憧れていた年長組に、いよいよ近づいてきたことを感じる年中組。ただえはるのではなく、やさしい思いやりがあってこそ “チャレンジ” になれることに気づくようにしたいですね。園で、友だちと一緒に、あるいは、家族の大人ともたくさん会話し、感じたり考えたり話し合うことで、言葉や心が豊かになれるよう援助しましょう。
	・友だちと言葉のやりとりを楽しみ、伝え合う大切さを知る。	『でっかいたがもとでっかいパンツ!』 “でっかい” を楽しんじゃおう!! (もりのへなそうる&節分)	
年少組	・集中してお話を聞いたり、言葉に興味をもつ。	『しっしっしっしっ、静かに聞きましょう!』(絵本、お話、人形劇)	いろいろなあそびや活動から、楽しさも、お友だちと一緒に嬉しさもしっかりと感じている年少組。このころは、先生を頼らなくても、のびのび生活できるようになってきました。「はなしをきく!」「こんなときはどうする?」など、方法や約束は、理由や意味もわかるように教えましょう。お兄さんお姉さんになることに、喜びと自信を育めることでしょう。
	・友だちと一緒に季節の行事や、それにちなむ活動を楽しむ。	『オニさんドキッ!? みんなとワクッ!』(節分、遠足・・・)	

※年中活動中の「たがも」は、「もりのへなそうる」に出てくるたまごの幼児語です。